

老人医療費を大切に使いましょう

老人医療費は、医療機関でみなさんが支払っている一部負担金のほかに、国保や健康保険などからの拠出金、国や愛知県市からの負担金など、いろいろな人たちの協力によってまかなわれています。

老人医療費が増え続けると、皆さんの負担も大きくなってまいります。今後も安心して医療を受けることができるよう、医療費を大切に使いましょう。

①診療時間内に医療機関にかかりましょう

診療時間外に医療機関にかかること、本来の診療費のほかに別料金が増算されます。緊急の場合などはやむを得ませんが、診療時間内にかかるようにしましょう。

②重複受診を避けましょう

一つの病気で複数の医療機関にかかることを「重複受診」といいます。医療機関を変えると、初診からはじまるので再び初診料がかかります。そして同じような検査をしたり、同じような薬をもらったり、本来は必要のないはずの医療費がかかってまいります。

また、検査や投薬の繰り返し

はからだにとってもよくありません。医師を信頼し、指示を守りましょう。

③健康診断を受けましょう

定期的に健診を受け、病気の早期発見、早期治療を心がけましょう。生活習慣病などの病気はかかりはじめに自覚症状がないものがほとんどです。年に1回は必ず受けるようにしましょう。

④かかりつけ医を持ちましょう

「かかりつけ医」を決めておくと、体調が悪いときは家族の病歴などを把握したうえで診察してもらえます。もし専門的な治療が必要であれば、ほかの医療機関への紹介状も書いてもらえます。

⑤薬は上手に飲みましょう

適切な用量・用法を守ってこそその薬です。医師の指示に従って飲むようにしましょう。また、「かかりつけ薬局」を持つと、薬の疑問などについて適切なアドバイスなどしてもらえます。

問合せ先

岡市民窓口グループ
☎52-11111 (内線227)



まちの話題

高取ビクトリーキッズ 全国ドッジボール大会3位に

12/3
(日)

全国413チームが参加し、日本一を競う「ドームドッジ2006INナゴヤ」がナゴヤドームで開催され、高取ビクトリーキッズが高学年ふれあいリーグ部門で3位に入賞しました。児童たちは、チームみんなががんばって、このような大きな大会で好成績が残せたことは、一生の思い出になりますと喜んでいました。



12/13
(水)

善意のタオル贈られる

市商工会が会員や行政などに呼びかけ実施した『タオル1本持ち寄り運動』で集まったタオル1,200本を、衛生上タオルが多く必要となる市内の福祉施設に寄贈しました。小笠原芳夫会長は「今後も、こうした活動を展開し、高齢者や障害者と地域のより良い関係を築いていきたい。」と話していました。

